

# 第2回 日本語コミュニケーション 研究会

日時：1月22日（日）

9:00-19:00

場所：人社棟A208

連絡先

小野正樹（人文社会系）

学内（3993）

ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

プログラム：

- 9:15-9:45 新井優子（筑波大学大学院生）「留学生同士の共生言語としての日本語会話—対話者との関係に注目して—」
- 9:45-10:15 齊藤幸一（創価大学大学院生）「談話における副詞「全然」の機能について—文脈否定用法の配慮的側面を中心—」
- 10:15-10:45 スランジ・ディルーシャ・デヒピティヤ（筑波大学大学院生）「日本語とシンハラ語の「依頼」に関する対照研究—シンハラ語母語話者日本語学習者の分析を通じて—」
- 10:45-11:15 李奇楠（北京大学）「励ましの日中対照」
- 12:15-1:15 山下悠貴乃（筑波大学大学院生）「依頼における配慮表現—日本語母語話者と日本語学習者を比較して—」
- 1:15-1:45 ショリナ・ダリヤグル（カザフ国立大学）「コミュニケーション能力養成を目指した総合日本語コースの計画案—Can-doを通じた初級日本語 シラバスの見直し—」
- 1:45-2:15 山下由美子（創価大学非常勤講師）「「しよう」「しようか」の意味・用法—日本語教育への提案—」
- 2:15-2:45 山岡政紀（創価大学）「いわゆる疑問文のコミュニケーション上の二面性をめぐって」
- 3:15-3:45 小野正樹（筑波大学）「「って」のコミュニケーション」
- 3:45-4:15 金玉任（誠信女子大学）「「よね」について」
- 4:15-4:45 畑由美子（創価大学大学院生）「文末音調の実験音声学的研究—「ノダ文」における音響分析を中心に」
- 4:55-5:25 大堀裕美（創価大学大学院生）「語彙的二重否定表現における配慮」
- 5:25-5:55 牧原功（群馬大学）「日本語のテンス・アスペクトとポライトネス」

総括